

インチキ
不当な

ブラジル大会!

ラフティング
チームテイケイ

ラフティング 世界選手権

平成26年10月17日~19日
ブラジル フォス・ド・イグアス

1位: ブラジル
2位: チェコ
3位: ロシア
4位: 日本

世界12カ国より
12チーム参加!

我々は“4位”ではなく 準優勝だ!

ゲートを通じたが、不通過と判定!
映像にて抗議したが、審議なく拒絶された!
(抗議ある場合は、審議をした後に判定をする規則である)

科学的な証拠



これにより、本来2位の点数が4位となる。

原因

1ゲート2名以上配置すべき審判を
2ゲート3名で同時に判定させた。(間引き)

主催者能力が無い!



選手兼監督
池田 拓也(35)

本当に悔しい思いをした...

ブラジル大会での世界一奪還に向け、これまでで一番の練習量を積み、万全の状態でも臨みました。しかし直前まで公式ボートの発表がなかったり、ポンプの未修理による人工コースの水量不足や、日本チームへの不利なジャッジ等とても厳しいレースとなり、悔しい結果となりました。しかし全てを撥ね退ける断トツの力があれば、公平とは言えないレースでも勝利を勝ち取れます。その力を得る為に全てを見直し、来年のインドネシア大会で世界一を奪還します。今後とも応援よろしくお願いたします。

今後“ブラジル主催の大会”には参加しない!